

企業の経営者・教育担当者様へ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部 福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター(愛称:ポリテクセンターいわき) 生産性向上人材育成支援センター 〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1 ☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

ものづくり人材育成講座のご利用案内

一能力開発セミナー 8月~11月開講 受講者募集一

以下は、8月~11月に開催する公募型ものづくり人材育成講座(能力開発セミナー)です。詳細及び申し込みは、ホームページまたはパンフレット(能力開発セミナーコースガイド)をご覧ください。ご不明な点はお気軽にご連絡ください。

【生産管理】生産管理と生産性向上の実践的能力を習得します。

生産管理システムの活用と現場改善

◇定員:10名 ◇対象:製造業に従事している方など ◇日程:8/30(金),8/31(土)(2日間) 9時~17時30分 ◇講師:松野裕二(松野技術士事務所代表(宮城県)) ◇受講料:13,000円 ◇内容:多種多様な製造現場に適する各種生産管理システムについて理解し、製造工程の実践的改善能力を習得します。 ◇使用機器:パソコン、プロジェクター ◇持参品:筆記用具

生産管理実践(現場改善手法編)

◇定員:10名 ◇対象:製造業で生産活動に従事している方など ◇日程:10/18(木),10/19(金)(2日間) 9時~17時30分 ◇講師:松野裕二(松野技術士事務所代表(宮城県)) ◇受講料:11,500円 ◇内容:製造現場における生産性の改善をめざして、作業に潜む様々なムダを発見・改善する実践的な手法を学び、生産性の高い作業方式立案と共に実践的な作業管理が行える能力を習得します。 ◇使用機器:ストップウォッチ、プロジェクターなど ◇持参品:筆記用具

【プレス生産技術】加工メカニズムを理解し問題解決力を高めます。

プレス生産技術(加工技術編)

◇定員:10名 ◇対象:プレス生産・金型設計製作などに従事する方 ◇日程:11/8(木),11/9(金)(2日間) ◇講師:小野田一夫(有)カズシステム取締役社長 ◇受講料:8,000円 ◇内容:プレス加工で安定的に製品を作り出すため、加工方法別にメカニズムを理解し起きやすい問題について解説します。プレス加工に従事し数年以上経過し、作業では目に見えない疑問を感ずることが多くなった方々に受講して頂ければ役立つコースです。 ◇使用機器:プレゼンテーション機器一式 ◇持参品:筆記用具

【機械設計加工技術】工具研削と3次元CAD技術を習得します。

工具研削実践技術

◇定員:7名 ◇対象:機械加工に従事する方 ◇日程:10/9(木),10/10(金)(2日間) ◇受講料:11,500円 ◇内容:ドリル及び旋盤用バイトの研削作業において、要求される精度や加工効率を満足するための工具形状・材質に関する最適化や、加工上の問題点を改善する再研削技術の技能高度化をめざして、実際の工具による再研削実習を通じ、再研削方法や指導するための能力を習得します。 ◇使用機器:両頭グラインダー、旋盤、バイト、ドリル ◇持参品:筆記用具、作業服、安全靴、保護メガネ

設計ツールによるモデリング技術

◇定員:10名 ◇対象:製品設計・開発に従事する方 ◇日程:11/12(水),11/13(木),11/14(金)(3日間) ◇受講料:11,000円 ◇内容:製品設計業務における機械設計の効率化をめざして、ソリッドモデルを中心に3次元CADを設計ツールとして効果的に活用した設計プロセスと、PDQと量産までの後工程を意識した高品質なCADデータ作成方法を習得します。 ◇使用機器:3次元CAD(Solid Works2017) ◇持参品:筆記用具

製品設計のための3次元検証技術(アセンブリ編)

◇定員:10名 ◇対象:製品設計・開発に従事する方 ◇日程:11/19(水),11/20(木)(2日間) ◇受講料:7,500円 ◇内容:製品設計の効率的な業務展開、設計による高付加価値化をめざして、3次元ソリッドモデラーを検証ツールとして「アセンブリ=機能展開」と捉えた活用方法、図面を活用した設計検討項目の検証方法を習得します。 ◇使用機器:3次元CAD(Solid Works2017) ◇持参品:筆記用具

【溶接技術】各種溶接施工技術を習得します。

TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)

◇定員:5名 ◇対象:溶接作業に従事する方 ◇受講料:19,000円 ◇日程:<9月開催>9/8(土),9/9(日)(2日間) <11月開催>11/17(土),11/18(日)(2日間) ◇内容:現在の習熟度を確認し、ステンレス鋼のTIG溶接作業の各種継手の溶接を行い、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 ◇使用機器:TIG溶接装置一式、安全保護具、器具一式等 ◇持参品:筆記用具、溶接保護具一式

炭酸ガス半自動アーク溶接技能クリニック

◇定員:5名 ◇対象:溶接作業に従事する方 ◇受講料:19,000円 ◇日程:<9月開催>9/8(土),9/9(日)(2日間) <11月開催>11/17(土),11/18(日)(2日間)

◇内容:製品の品質向上を図り、鋼構造物作成工程のマグ溶接作業における技能高度化をめざして、各溶接実技課題を通じて鋼構造物製作に関わる溶接技術・溶接施工の技能・知識を習得します。 ◇使用機器:マグ溶接装置一式、器具一式、安全保護具、溶接継手曲げ試験機 ◇持参品:筆記用具、溶接保護具一式

TIG溶接実践技術(アルミニウム合金材編)

◇定員:6名 ◇対象:TIG溶接作業に従事する方 ◇受講料:19,500円 ◇日程:8/25(土),8/26(日)(2日間) ◇内容:アルミニウム合金のTIG溶接作業の技能高度化や溶接施工の改善をめざして、現在の習熟度を確認し各種継手の溶接を行い、溶接条件や電極の種類及び先端形状による影響の確認を行うことにより、適正なTIG溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。 ◇使用機器:TIG溶接装置一式、安全保護具、器具一式等 ◇持参品:筆記用具、溶接保護具一式

スポット溶接施工技術

◇定員:5名 ◇対象:スポット溶接作業に従事する方 ◇受講料:18,000円 ◇日程:10/13(土),10/14(日)(2日間) ◇内容:溶接作業の技能高度化をめざして、スポット溶接におけるナゲット形成現象の理論的展開と、その結果発生する内部欠陥と対策を理解し、品質保証のための管理手法及び各種材料のスポット溶接施工の管理ポイントを習得します。 ◇使用機器:スポット溶接機、万能試験機 ◇持参品:筆記用具、溶接保護具一式

【電気技術】シーケンス制御技術を習得します。

有接点シーケンス制御の実践技術

◇定員:10名 ◇対象:配電盤・制御盤の設計業務に従事する方 ◇日程:10/13(土),10/20(土),10/27(日)(3日間) ◇受講料:15,000円 ◇内容:自動生産システムの効率化・適正化をめざして、各種制御機器の選定方法、各種制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・製作方法を習得します。 ◇使用機器:電磁継電器、スイッチ、表示灯、ブレーカ、テスタ、工具など ◇持参品:筆記用具

有接点シーケンス制御による電動機制御の実務

◇定員:10名 ◇対象:制御回路等の設計・組立・配線業務に従事する方、【有接点シーケンス制御の実践技術】を受講された方(シーケンス制御の基礎知識がある方) ◇日程:11/10(土),11/17(土),11/24(日)(3日間) ◇受講料:15,000円 ◇内容:電動機と有接点リレーシーケンス制御による運転回路の設計、制御盤組立などの作業の効率化・改善をめざして、安全と品質に配慮した電動機制御の実務作業とその評価方法を習得します。 ◇使用機器:電磁接触器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ブレーカ、3相誘導モータ、テスタ、工具など ◇持参品:筆記用具

【IoT技術】ラズベリーパイを用いてIoT技術を習得します。

シングルボードコンピュータプログラム開発技術 -ラズベリーパイと簡易ロボットを用いたScratch言語活用技術-

◇定員:10名 ◇対象:IOT技術習得を目指す方 ◇講師:市川弘幸(市川技術士事務所所長 技術士[情報工学部門]) ◇日程:11/8(木),11/9(金),11/15(土),11/16(日)(4日間) ◇受講料:31,000円(受講料にはロボットカー製作費2万円相当が含まれます。修了後、作成したロボットカーはお持ち帰りいただけます) ◇内容:ラズベリーパイ・ゼロ WHとScratch言語を用いたIoT技術をわかりやすく習得できる内容です。日程は4日間ですが、2日間ずつに分け、その間に、自宅でロボットカーを組み立ててきていただき、後半の2日間は各種の制御プログラムの製作を行い、応用力をつけ、修了後も自宅で学習できる環境を用意します。 【ロボットカーキットを2日目に持ち帰り、組立てて3日目にお持ちください】 ◇使用機器:ラズベリーパイ・ゼロ WH、ラズパイ・ゼロで作ったパソコン、ブレッドボード、電子部品、距離センサー、スピーカー、マイク、電子ブザー、パイ・ゼロカメラ、ロボットカー組立てキットなど ◇持参品:筆記用具



【建築技術】電気設備の施工管理及びプレゼンテーション技術を習得します。

建築電気設備の施工管理

◇定員:10名 ◇対象:建築電気設備の施工管理に従事する方など ◇日程:<8月開催>8/1(土),8/2(日)(2日間) <10月開催>10/31(土),11/1(日)(2日間) ◇講師:福田壽明(株)窓建コンサルタント(東京都勤務) ◇受講料:10,500円 ◇内容:建築物の建設を目的とした建築電気設備工程表の作成、施工管理実施の際の問題点等を考慮し、建築電気設備施工管理の運営を習得します。 ◇使用機器:プロジェクターほか ◇持参品:筆記用具

実践建築設計のプレゼンテーション

◇定員:10名 ◇対象:建築設計業務に従事する方など ◇日程:10/27(土),10/28(日)(2日間) ◇受講料:8,500円 ◇内容:設計及び設計図書作成の高付加価値化をめざして、施主に対する提案を可視化する3次元の設計手法、各種建築図面・パースの活用技術について習得します。 ◇使用機器:パソコン一式、PhotoshopCS5.1, IllustratorCS5.1等

団体及び企業の経営者・教育担当者様へ

# 生産性向上支援訓練等のご利用案内

## 【Topics】人材育成に関連する各種情報

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部  
 福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター  
**(愛称：ポリテクセンターいわき)**  
**生産性向上人材育成支援センター**  
 〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場 1-1  
 ☎0246-26-1231 Fax 0246-26-1237

### 生産性向上支援訓練について

- ◆生産性向上支援訓練は、昨年度（平成29年度）から全国のポリテクセンターに国の働き方実行計画の中で「生産性向上人材育成支援センター」を併設し開始いたしました。
- ◆平成30年4月現在、**当該訓練コースは右表のとおり52コース**となっています(順次コースが追加されてきています)。
- ◆平成29年度の全国の利用状況は、下表のとおりですが、中でも「生産現場の問題解決」コースが全体の25%を占めています。また、福島県内の受講者は139人でした。利用事業主の企業規模は中小企業が8割以上、従業員数が100人未満の企業が多く利用されました。なお、平成30年度の全国の計画数は23,500人、福島県内は390人となっています。

#### <平成29年度の全国の利用状況>

| <目的別>         | <実施コース数>  | <受講者数(人)> |
|---------------|-----------|-----------|
| ◆生産・業務プロセスの改善 | 239 (71%) | 3,288     |
| ◆売上増加         | 56 (17%)  | 626       |
| ◆横断的課題        | 41 (12%)  | 582       |
| 計             | 336       | 4,496     |

- ◆活用方法は、①認定された事業主等による方法、②個別記号別の希望による方法（オーダーメイド型）、③複数企業が参加する方法（オープン方式）があります。なお、今年度の希望団体の公募は終了していますので、次年度に向けてご検討をお願いします。
- ◆講師の選定等は、認定団体の場合は各団体の希望する講師を選定。オーダーメイド型やオープン方式の場合は、認定された実施機関を選定し委託方式により計画実施します。
- ◆受講料は、6時間～12時間未満コースの場合3,240円(税込)、12時間～19時間未満コースの場合5,400円(税込)、19時間～30時間未満コースの場合6,480円(税込)です。
- \*詳しいことを知りたい場合、活用したいなどのご希望はお気軽にご連絡・ご相談をお願いします。

### ITリテラシーを習得するための基礎的ITセミナー【事前情報】

- ◆本年度後期から開始予定の基礎的ITセミナーについての現在検討中の情報をお知らせします。詳細情報を知りたい場合や活用したいなどのご希望の場合は、お気軽にご連絡・ご相談をお願いします。
- ◆基礎的ITリテラシーとは、現在入手・利用可能なITを使いこなして、企業・業務の生産性向上やビジネスチャンスの創出・拡大に結びつけるのに必要な基礎となる情報のことです。
- ◆基礎的ITリテラシーは、いわゆるIT企業で働いている方だけでなく、ITを活用する企業で働く方を含め、全てのビジネスパーソンが今後標準的に身につけることを期待されています。
- ◆基礎的ITセミナーは、それらの基礎的ITリテラシーを習得することを目的として、JEED(当機構)がITに係る専門的な知見とノウハウを有する民間機関等に委託して実施する職業訓練です。

### 「人材開発支助助成金」のご案内

人材開発支助助成金は、労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、職業訓練の段階的・体系的な実施などを労働者に適用させた事業主等に助成する制度です。  
 ポリテクセンターが実施する各講座は、この助成金の対象となっています(生産性向上支援訓練は12時間以上コースの場合が対象)。当該助成金の活用などについてお気軽にご相談をお願いします。

### クリナップ(株)生産本部 公開講座のご案内

クリナップ(株)の社内教育プログラムの一部を地域の企業に公開します。社員教育にご活用ください。  
 ◆コース名：ハウレンソウに強くなる  
 ◆日時：平成30年8月6日(月)午後1時30分～4時  
 ◆会場：ポリテクセンターいわき 本館多目的ホール ◆定員：6～10名  
 ◆受講料：3,000円(当日ご持参ください。クリナップ(株)が領収書を発行します。)  
 \*受講料は5,000円→3,000円に変更しました  
 ◆申込期限：平成30年7月30日(月)  
 ◆問合せ先：ポリテクセンターいわき【担当：長瀬】までご連絡ください

### 「いわき地区電気工事協同組合」主催講座のご利用案内

同組合会員企業を対象に、ポリテクセンターいわきを会場としてオーダーメイドコースを開設しています。同組合のご理解により会員企業以外でもご受講ができますので、お気軽にご相談をお願いします。

### 「Japan Robot Week 2018」福島ブースのご案内

世界最大規模のロボット専門展に(一財)福島イノベーション・コースト構想推進機構及び県内企業等が出展します。「福島ロボットテストフィールド」や「メイドイン福島」のロボット技術や製品のアピールや販路開拓の支援を行います。  
 ◆開催日時：平成30年10月17日(水)～10月19日(金)  
 ◆会場：東京ビックサイト 東4,5,6ホール(予定)  
 【情報提供】：一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボット産業推進協議会

| 目的           | 分野         | (小分類)      | No               | コース名                  |                        |
|--------------|------------|------------|------------------|-----------------------|------------------------|
| 生産・業務プロセスの改善 | 生産管理       | 生産・開発計画    | 1                | ものづくりの仕事のしくみと生産性向上    |                        |
|              |            |            | 2                | 生産性分析と向上              |                        |
|              |            |            | 3                | 生産現場の問題解決             |                        |
|              |            | 工程管理       | 4                | 生産性向上のための課題とラインバランシング |                        |
|              |            |            | 5                | 生産計画と工程管理             |                        |
|              |            |            | 6                | サービス業におけるIE活用         |                        |
|              |            |            | 7                | 原価管理とコストダウン           |                        |
|              |            |            | 8                | 在庫管理システムの導入           |                        |
|              |            |            | 9                | 購買・仕入れコスト削減           |                        |
|              |            |            | 10               | POSシステムの活用技術          |                        |
|              | 品質保証・管理    | 品質保証・管理手法  | 11               | 品質管理基本                |                        |
|              |            |            | 12               | 品質管理実践                |                        |
|              | 流通・物流      | 流通・物流      | 13               | 3PLとSCM               |                        |
|              |            |            | 14               | 物流のIT化                |                        |
|              |            |            | 15               | 流通システム設計              |                        |
|              |            |            | 16               | 物流システム設計              |                        |
|              |            |            | 17               | 卸売業・サービス業の販売戦略        |                        |
|              |            |            | 18               | SCMの現状と将来展望           |                        |
| バックオフィス      | クラウド・IOT導入 | 19         | クラウド活用入門         |                       |                        |
|              |            | 20         | IOT活用によるビジネス展開   |                       |                        |
|              |            | 21         | クラウドを活用したシステム導入  |                       |                        |
|              |            | 22         | IOT導入に係る情報セキュリティ |                       |                        |
| 横断的課題        | 財務管理       | 財務管理       | 23               | 企業価値を上げるための財務管理       |                        |
|              |            |            | 24               | IOTを活用したビジネスモデル       |                        |
|              | リスクマネジメント  | リスクマネジメント  | 25               | 事故をなくす安全衛生活動          |                        |
|              |            |            | 26               | 個人情報保護と情報管理           |                        |
|              |            |            | 27               | リスクマネジメントによる損失防止対策    |                        |
|              |            |            | 28               | eビジネスにおけるリーガルリスク      |                        |
|              | 組織マネジメント   | ナレッジマネジメント | 29               | ナレッジマネジメント            |                        |
|              |            |            | 30               | 知的財産権トラブルへの対応(1)      |                        |
|              |            |            | 31               | 知的財産権トラブルへの対応(2)      |                        |
|              | 組織力強化      | 組織力強化      | 32               | 業務効率向上のための時間管理        |                        |
|              |            |            | 33               | 成果を上げる業務改善            |                        |
|              |            |            | 34               | 組織力強化のための管理           |                        |
|              |            |            | 35               | 管理者のための問題解決力向上        |                        |
|              |            |            | 36               | プロジェクト管理技法の向上         |                        |
|              |            |            | 37               | プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理 |                        |
| 営業・販売        | 顧客拡大       | 顧客拡大       | 38               | 提案型営業手法               |                        |
|              |            |            | 39               | 提案型営業実践               |                        |
|              |            |            | 40               | マーケティング志向の営業活動の分析と改善  |                        |
|              |            |            | 41               | 統計データ解析とコンセプトメイキング    |                        |
| 売上増加         | 顧客情報       | 顧客情報       | 42               | 顧客分析手法                |                        |
|              |            |            | 43               | 顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析  |                        |
|              | マーケティング    | 概論         | 概論               | 44                    | 実務に基づくマーケティング入門        |
|              |            |            |                  | 45                    | マーケティング戦略概論            |
|              | マーケティング    | 顧客拡大       | 顧客拡大             | 46                    | マーケット情報とマーケティング計画(調査編) |
|              |            |            |                  | 47                    | マーケット情報とマーケティング計画(販売編) |
|              |            |            |                  | 48                    | インターネットマーケティングの活用      |
|              | 企画・価格      | サービス・商品開発  | サービス・商品開発        | 49                    | 製品・市場戦略                |
| 50           |            |            |                  | 新サービス・商品開発の基本プロセス     |                        |
| プロモーション      | 販売促進       | 販売促進       | 51               | プロモーションとチャンネル戦略       |                        |
|              |            |            | 52               | チャンスをつかむインターネットビジネス   |                        |